

クラニシのネットワークチューナー内蔵SWR電力計NT-510は、永年SWR電力計を発売してきたクラニシならではの製品です。トランシーバー及びアンテナの無調整化が進むなかでユーザーである無線家はミスマッチをどうする事もできず、困ってしまいます。

本機はこの悩みを解決します。

電力計メーターとSWRメーターの2つのメーターを使用し、ネットワークチューナーを内蔵しているので、SWRを調整しながら電力の増減とSWRの良否を同時に見られますので使いやすさはバツグンです。

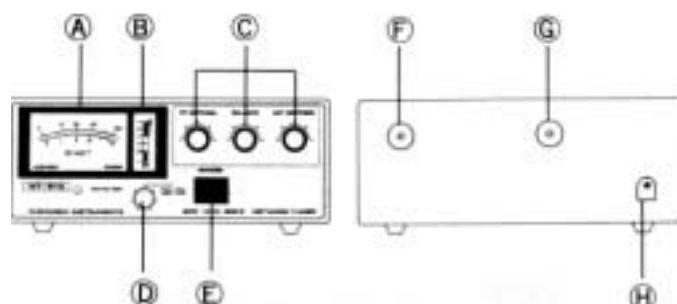
### ■性能・特長

- ①インサーションロスが少なく安心して使用出来る。
- ②SWRが3以下はほとんど完全マッチング出来る。
- ③電力計メーターとSWR計メーターが同時に見られるのでネットワークチューナーが調整しやすい。
- ④モバイル使用も出来るようにランプ付メーターを使用している。(モバイルハンガー付)
- ⑤完成度の高いデザインで使いやすさを重視した設計である。

### ■仕様

周波数範囲	24-50MHz BAND
通過電力	MAX 200W(マッチング完了時)
損失	-0.5db TYP
調整範囲	50Ω系 SWRが3以内
電力計レンジ	20W/200W
電力計誤差	FS-10%
電源	12V-15V 照明用 センター+
コネクター	入・出共 MR-50A
重量	1,100g
寸法	200×85×120%

### ■各部説明



#### ④送信電力指示メーター

送信機出力電力を測定するメーター (FS-20W・FS-200W 切替) です。

#### ⑤SWR表示メーター

CAL (キャリブプレート) 点の表示、及びSWRの直読用メーターです。

#### ⑥ネットワークチューナー調整用ツマミ

このツマミでSWRが良くなるように合わせます。

#### ⑦キャリブレーションボリューム

このボリュームを引出して回しながら指針をCAL点に合せその位置で押込めば指針がその時のSWRを正確に表示します。(PULL-CAL 共通ツマミです)  
(PUSH-SWR)

#### ⑧ワットメーター電力切替スイッチ

④メーターの電力計レンジ切替です。20W/200Wを切替えます。

#### ⑨出力コネクター

アンテナ又は50Ω系負荷の接続用端子です。

#### ⑩入力コネクター

送信機からこのコネクターに入力します。最大200Wまで入力出来ます。

#### ⑪DC入力端子

DC12-15Vを入力します。端子はセンタープラスです。  
(+—⊖—)

### ■使用方法

#### ①接続

- 送信機の出力端子からの接続ケーブル (50Ω系同軸ケーブル) を⑩の入力端子に接続します。
- ⑨の出力端子にアンテナ (50Ω系負荷) を接続します。
- ⑪のDC端子にはDC13.8Vセンタープラスで接続します。  
(+—⊖—)

#### ②測定及び調整準備

- 本機と送信機及びアンテナとの接続が完全ならば測定前の準備をします。
- ⑥のCAL調整ボリュームは最少 (反時計方向いっぱい) に回して下さい。
- ⑥のCAL/SWRスイッチをSWR側にして下さい。(PUSH-SWR)  
⑧のレンジスイッチは200W側にして下さい (但し送信出力が20W以下の送信機の場合は20W側が良い)

#### SWR表示

- 送信機が20W以下の送信機であればそのまま送信して下さい。
- 送信機が20W以上の場合はローパワーに切替えるか、又ブラスターを使用の場合は出力コントロールにより20W以下で送信して調整します。  
この時④の電力計メーターが送信出力電力を指示しています。